



# I 安定した雇用をつくる

※事業費は決算ベース  
産業プラザ運営費

事業番号1	産業プラザ運営事業			決算額	21,268 千円										
				所管課	商工課										
財源内訳	国県	3 千円 市債	千円 その他	千円 一般	21,265 千円										
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>(一社)産業サポート白河を産業プラザの指定管理者として指定し、企業訪問、関係機関とのネットワーク形成などの産業振興業務、パソコン教室及び小中学生向けのロボットプログラミング教室等の各種事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業訪問・相談事業</td> <td>・県南地域の企業を訪問し、企業情報を収集するとともに、各企業が抱える課題解決に向けた各種支援を行った。 (合計:1,993件 うち来所:139件 訪問件数:1,515件 電話・メール:339件)</td> </tr> <tr> <td>取引あっせん事業</td> <td>・地域内での企業間取引を活性化するため、取引の仲介を行った。 (相談件数:64件 うち成功件数:53件、不成功:11件、継続中:0件)</td> </tr> <tr> <td>人材育成事業</td> <td>・パソコン教室:5講座 のべ参加人数:32名 ・小中学生向けロボットプログラミング教室:4講座 のべ参加人数:34名</td> </tr> <tr> <td>起業家支援事業</td> <td>・インキュベーションマネジャーの資格を有する相談員による、起業・操業希望者への支援を行った。</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	事業成果	企業訪問・相談事業	・県南地域の企業を訪問し、企業情報を収集するとともに、各企業が抱える課題解決に向けた各種支援を行った。 (合計:1,993件 うち来所:139件 訪問件数:1,515件 電話・メール:339件)	取引あっせん事業	・地域内での企業間取引を活性化するため、取引の仲介を行った。 (相談件数:64件 うち成功件数:53件、不成功:11件、継続中:0件)	人材育成事業	・パソコン教室:5講座 のべ参加人数:32名 ・小中学生向けロボットプログラミング教室:4講座 のべ参加人数:34名	起業家支援事業	・インキュベーションマネジャーの資格を有する相談員による、起業・操業希望者への支援を行った。
事業名	事業成果														
企業訪問・相談事業	・県南地域の企業を訪問し、企業情報を収集するとともに、各企業が抱える課題解決に向けた各種支援を行った。 (合計:1,993件 うち来所:139件 訪問件数:1,515件 電話・メール:339件)														
取引あっせん事業	・地域内での企業間取引を活性化するため、取引の仲介を行った。 (相談件数:64件 うち成功件数:53件、不成功:11件、継続中:0件)														
人材育成事業	・パソコン教室:5講座 のべ参加人数:32名 ・小中学生向けロボットプログラミング教室:4講座 のべ参加人数:34名														
起業家支援事業	・インキュベーションマネジャーの資格を有する相談員による、起業・操業希望者への支援を行った。														
				 <p>【小中学生向けロボットプログラミング教室】</p>											

## IT関連創業者発掘事業

事業番号2	会津大学産業関連交流事業			決算額	204 千円
				所管課	商工課
財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円 一般	204 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>相互の連携・協力のもと、人材育成、産業振興及び地域貢献に寄与することを目的に、2018年3月に連携協定を締結した。</p> <p>○産業人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内高校生と会津大学との交流事業</li> </ul> <p>市内の高校生が大学が持つ知識や技術を学ぶ機会を設けることにより、ITやコンピュータ分野に対する興味・関心を醸成するとともに、将来の視野を広げる。</p> <p>※参加者:白河高等学校10名、白河旭高等学校4名、白河実業高等学校3名、その他1名</p> <p>○地域企業の底上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白河市と会津大学の産学連携に係る意見交換会</li> </ul> <p>更なる産学連携の推進を目的として、産学イノベーションセンターの由本准教授・小瀧事務長をお招きして、市内企業との意見交換会を開催した。</p>					
				 <p>【市内高校生と会津大学との交流事業】</p>	

若者定着産業力強化事業

事業番号 3	UIJターン就活促進事業		決算額	330 千円				
			所管課	商工課				
財源内訳	国県	186 千円	市債	千円	その他	千円	一般	144 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>地元企業の人材確保とともに、定住と就職の促進を図るため、首都圏でのイベント参加や大学訪問、UIJ希望者が市内で面接を行う際の交通費を補助した。</p> <p>○大学訪問・支援機関訪問 首都圏の人手で、ふるさと福島就職情報センターを訪問し、市内企業の採用情報や交通費補助金について周知を図った。</p> <p>○交通費補助金 UIJターン希望者が市内で面接を行う際の交通費に対して補助金を交付した。(7件、66,500円)</p> <p>○LINEによる情報発信 市内企業の情報発信として、採用情報や企業紹介などを毎月発信した。また、イベント情報なども合わせて発信した。</p>								

若者定着産業力強化事業

事業番号 4	若者Uターン・地元定着促進事業		決算額	8,550 千円				
			所管課	商工課				
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	4,330 千円	一般	4,220 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>(一社)産業サポート白河に委託し、企業情報の収集・発信を行い、新規顧客の開拓や若者の地元企業への就職を促進した。また、平成29年度から県南8町村とも連携し、定住自立圏の枠組みで人材不足対策や事業承継支援を実施した。</p> <p>○地元企業の人材不足対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業データベース整備事業 「しらかわ企業データベース」により、しらかわ地域の企業情報を広く配信した。(登録企業数:276社)</li> <li>・しらかわ企業ガイドブック2020制作事業 しらかわ地域の企業を紹介する「しらかわ企業ガイドブック」のリニューアルを行った。ガイドブックでは生產品なども含めた会社情報を紹介するほか、今回から新たに福利厚生や初任給などの採用情報を掲載した。これにより学生などが就職活動するうえで必要とする情報を一元的に得ることが可能となり、地元企業への就職促進が期待される。(作成部数:2,000部)</li> </ul> <p>○事業承継支援事業 経済を支えるキーマンともいえる地元中小企業の存続と発展のため、事業承継への早期取組みの重要性が高まっていることから、市内の中小企業経営者や金融機関担当者等を招いてセミナーを開催した。(参加人数:36名)</p>								

地方創生推進交付金事業

事業番号 5	しらかわ地域ものづくり高度化・海外展開促進事業	決算額	23,408 千円					
		所管課	商工課					
財源内訳	国県	9,281 千円	市債	千円	その他	4,845 千円	一般	9,282 千円

[主な事業内容と成果]

産業サポート白河に委託し、しらかわ地域のものづくり企業が抱える経営課題等に対してきめ細やかな支援(伴走型支援)を行う体制を整備するとともに、地域の資源や産業の強みを活かした「ものづくり高度化」や「海外展開」などを促進した。

- 経営改善指導事業
  - ・企業訪問による情報収集、課題の抽出・整理
- しらかわ型5S推進事業
  - ・参加企業:18社
  - ・インストラクターによる企業訪問、座学研修:全11回
- 産業技術高度化講習事業
  - ・ものづくり講習会の実施 14講座 参加者延べ199名
- 大規模見本市出展事業
  - ・第23回機械要素技術展出展 出展社数:5社+産業サポート白河



【ものづくり講習会(産業技術高度化講習)】

IT関連創業者発掘事業

事業番号 6	コワーキングスペース「らくり」運営事業	決算額	5,783 千円					
		所管課	商工課					
財源内訳	国県	3,698 千円	市債	千円	その他	329 千円	一般	1,756 千円

[主な事業内容と成果]

市内での創業を促進するため、創業間もない方等に手軽に利用できるコワーキングスペースを提供した。また、利用者には常駐するインキュベーションマネージャーが伴走型で支援することで市内での創業を推進した。

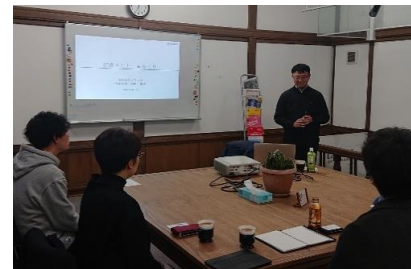
- 利用状況(令和2年3月末時点)
  - ・指定席2人、自由席4人
- 起業セミナーの開催
 

先輩起業家を招いたセミナーを開催し、創業機運の醸成を図るとともに、利用者やセミナー参加者のマッチングを行い、新事業の促進を行った。

- (1)6月14日(金)開催  
参加者:24名
- (2)8月30日(金)開催  
参加者:13名
- (3)12月13日(金)開催  
参加者:8名
- (4)令和2年2月6日(木)開催  
参加者:4名



【コワーキングスペース外観】



【起業セミナーの様子】

白河の大地が君を待つ！就農全力バックアップ事業

事業番号 7	がんばる新規就農者支援事業	決算額	5,900 千円					
		所管課	農政課					
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	5,900 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>経営が不安定な就農初期段階において、安定的かつ計画的に営農に臨めるよう、青年等就農計画書等で経営規模目標を達成するために導入すると定めた施設、機械等の導入経費を支援し、新規就農者の定着を図った。</p> <p>○ 補助実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助額 定額(1,500千円上限)</li> <li>・ 補助件数 4件</li> <li>・ 補助金総額 5,900千円</li> <li>・ 導入した農業用機械等 田植機、軽トラック、パイプハウス、移植機等</li> </ul>								

白河市産米消費拡大及び魅力発信事業

事業番号 8	白河市産米消費拡大及び魅力発信事業	決算額	8,969 千円					
		所管課	農政課					
財源内訳	国県	3,000 千円	市債	千円	その他	千円	一般	5,969 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>白河市産米の販路開拓等による安定的な需要確保のため、販売促進活動に加えて実際に白河市産米に触れる機会の創出及び誘導を図りながら地域イメージの確立に向けて米以外の農畜産物や歴史・文化などの市域資源とともに白河市産米の魅力を発信した。</p> <p>○委託料:6,985千円 旅費:384千円 負担金補助及び交付金:1,600千円</p> <p>○実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏及び市内において白河産コシヒカリの販売促進・PRイベントを開催。</li> <li>・首都圏等において開催される「食の商談会」に出展し白河産コシヒカリの売り込みを行った。</li> <li>・ギフト用(ウェディング、出産内祝)パッケージデザインを開発し、商談会等でPRを行った。</li> <li>・新米の時期に、メディアを対象に、白河市産米をメインとした食事会を開催。</li> </ul>								
 <p>【ヤフー(株)「白河フェア」】</p>		 <p>【商談会でのギフト商品PR】</p>		 <p>【分とく山での食事会】</p>		 <p>【オレンジページ掲載記事】</p>		

農畜産物6次化・ブランド化推進事業

事業番号 9	農畜産物6次化・ブランド化推進事業	決算額	1,782 千円
		所管課	農政課
財源内訳	国県 千円 市債 千円 その他 千円 一般		1,782 千円

[主な事業内容と成果]

白河市産の農畜産物を主な原材料とした新商品の開発(商品のネーミング、パッケージデザインの開発等を含む)や、新商品の販路開拓を行う取り組みなどに係る経費の一部を支援した。また、定住自立圏構想の取り組みとして「事業者向け6次産業に係る研修会」を開催した。

○ アグリビジネス連携補助金 補助実績 (補助率 2/3) (単位:千円)

事業名	補助上限額	補助実績額 (件数)	事業の内容
新商品 事業化推進事業	800	800 (1件)	新商品の開発に向けた取組(商品のネーミング、パッケージデザイン開発等を含む。)に対する補助
新商品 販路開拓等事業	300	300 (1件)	新商品の販路開拓を行う取組及び新商品の販路開拓に必要な改良等(商品のネーミング、パッケージデザインの改良等を含む。)を行う取組に対する補助
合計		1,100 (2件)	

○ 定住自立圏構想関連事業 (単位:千円)

事業名	事業負担金	事業の内容
事業者向け6次産業に係る研修会	128	6次産業のコンサルタント企業関係者を講師として招き、6次化商品の開発等に係る研修会を2回開催した。 ①売れる6次化商品・農産物加工品の作り方セミナー ②クチベタでも大丈夫。イベント販売成功の秘訣セミナー